

「コールサイン」

アマチュア無線技士の試験に合格して無線局の開局申請をすると、世界でたった一つのコールサインを貰えます。

コールサインのしくみ

コールサインとは個々の無線局に割り当てられた識別信号のことです。

コールサインには一定の割当法則があり、それにより国や地域を特定できます。

日本に割り当てられたコールサインを説明します。

プリフィックス		サフィックス
国際字列	エリア	
J A	1	A B C

コールサインはプリフィックスとサフィックスに分けられます。

■プリフィックス

プリフィックス[Prefix]は国際電気通信連合（ITU）が定める国際呼出符号字列分配表に基づいて国や地域に割り当てられています。

日本の割り当て字列は **J A**～**J S**、**7 J**～**7 N**、**8 J**～**8 N**です。

J A・**J H**・**J R**・**J E**・**J F**・**J G**・**J I**・**J J**・**J K**・**J L**・**J M**・**J N**・**J O**・**J P**・**J Q**・**J S**の順に割り当てられます。

また、**7 J**は外国人※、**8 J**は特別記念局、**J D**は小笠原に割り当てられます。

J Bと**J C**はアマチュアには使用されていません。

（※現在は在日外国人にも日本人と同じコールサインが割り当てられるケースが多くなっています。）

関東地方のみに**7 K**・**7 L**・**7 M**・**7 N**が割り当てられています。

国際字列の次の数字は地域を表すエリアナンバー（地域番号）です。

日本の場合は、各地方総合通信局の管轄地域を表しています。

例外として**7 K**～**7 N**は1～4の数字が割り当てられていますが、これらはエリアに関係なく、すべて関東（1エリア）のもので

また、**J R 6**(**JR6QUA** 以降)と**J S 6**は沖縄に割り当てられます。

この国際分配字列とエリアナンバーを合わせたものをプリフィックスと呼びます。

■サフィックス

サフィックス[Suffix]はアルファベット（A～Z）の組合せで、**A A A**・**A A B**・**A A C**・・・というようにアルファベット順に割り当てられます。

このアルファベットの1番目をトップレター（ファーストレター）、2番目をミドルレター（セカンドレター）、3番目をラストレター（テールレター）とも言います。

トップレターがYとZではじまるのはクラブ局（社団局）です。

よって個人局には**A A A**～**X Z Z**、社団局には**Y A A**～**Z Z Z**が割り当てられます。

また**J A**の古い個人局には**A A**～**Z Z**のサフィックスが2文字の局も存在します。

これら、プリフィックスとサフィックスを合わせたものがコールサイン（呼出符号）です。

関東、東海、近畿、九州ではコールサインが不足になり、閉局したものを再割り当てしています。

なお、日本ではQ符号と重なる**QRA**～**QTZ**及び遭難信号等の**SOS**、**OSO**、**TTT**、**XXX**は割り当てられません（まれにミス発給はあります）。

よって1プリフィックスあたり、個人局は16142局、社団局は1352局存在します。